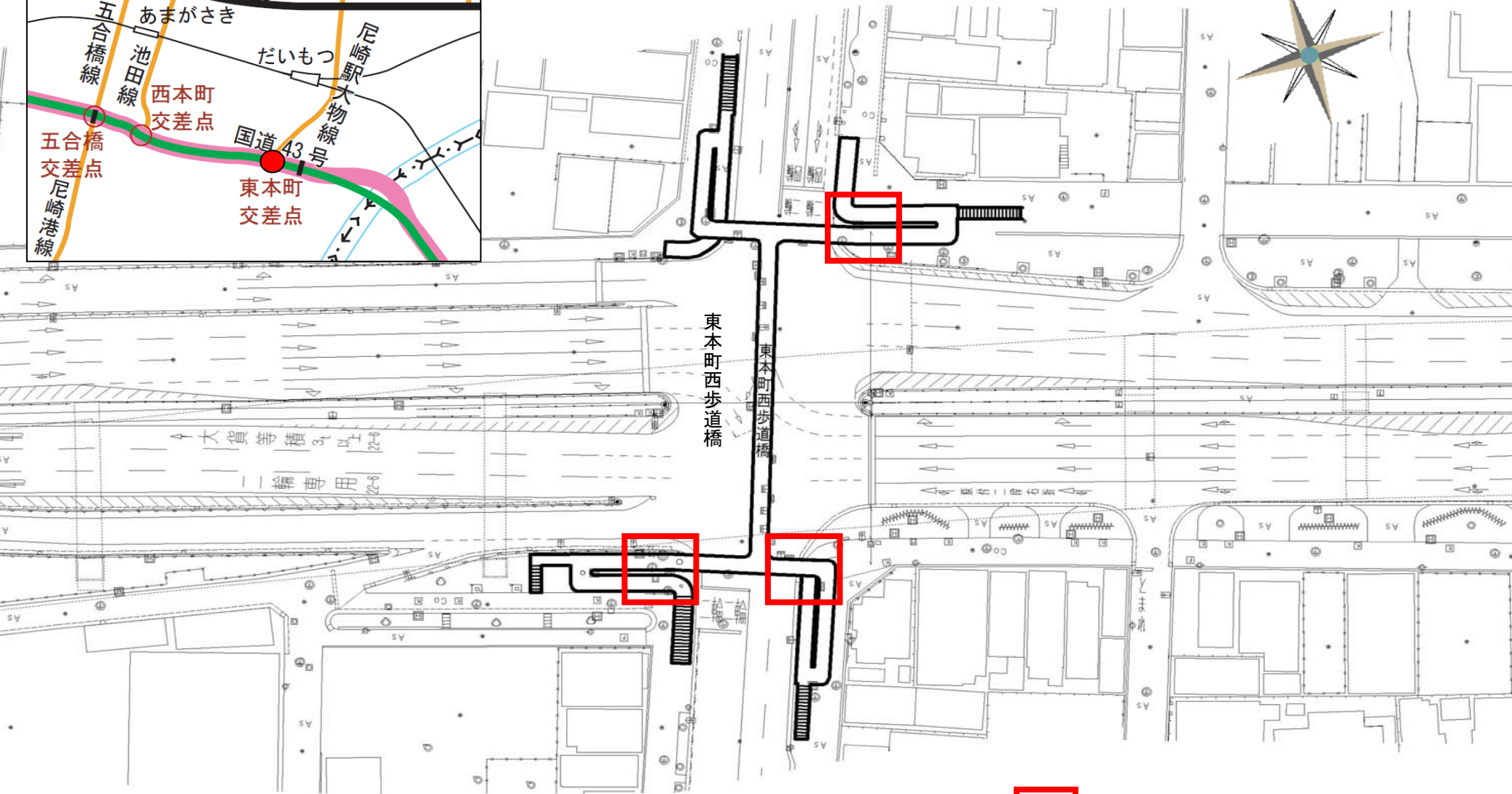


東本町交差点平面図

2008.7.31
尼崎連絡会資料
(資料-1)

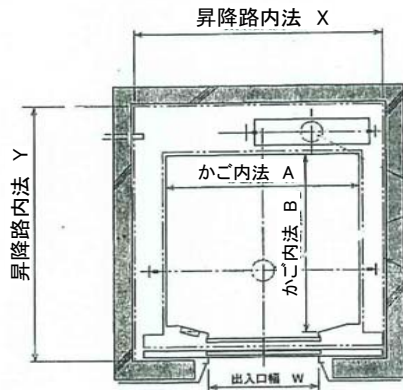


 EV設置予定位置

エレベーター概要（案）

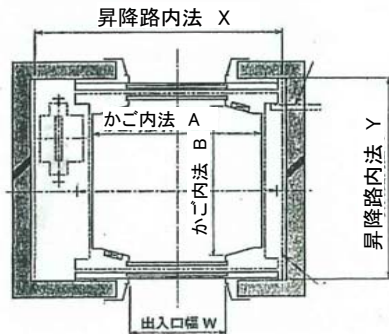
エレベーター概要（案）

- ・車いすを対象とする。自転車は対象としない。
- ・一方向出入り型、二方向出入り型のどちらかとするが、車いすがカゴ内で回転しなくてもよい二方向出入り型を優先する。
- ・速度 45m/分
- ・定員 一方向出入り型 15人
二方向出入り型 11人



一方向出入り型 標準寸法表 (単位:mm)

定員	15人
かご寸法 A×B	1600×1500
出入り幅 W	900
昇降路寸法 X×Y	2150×2300



二方向出入り型 標準寸法表 (単位:mm)

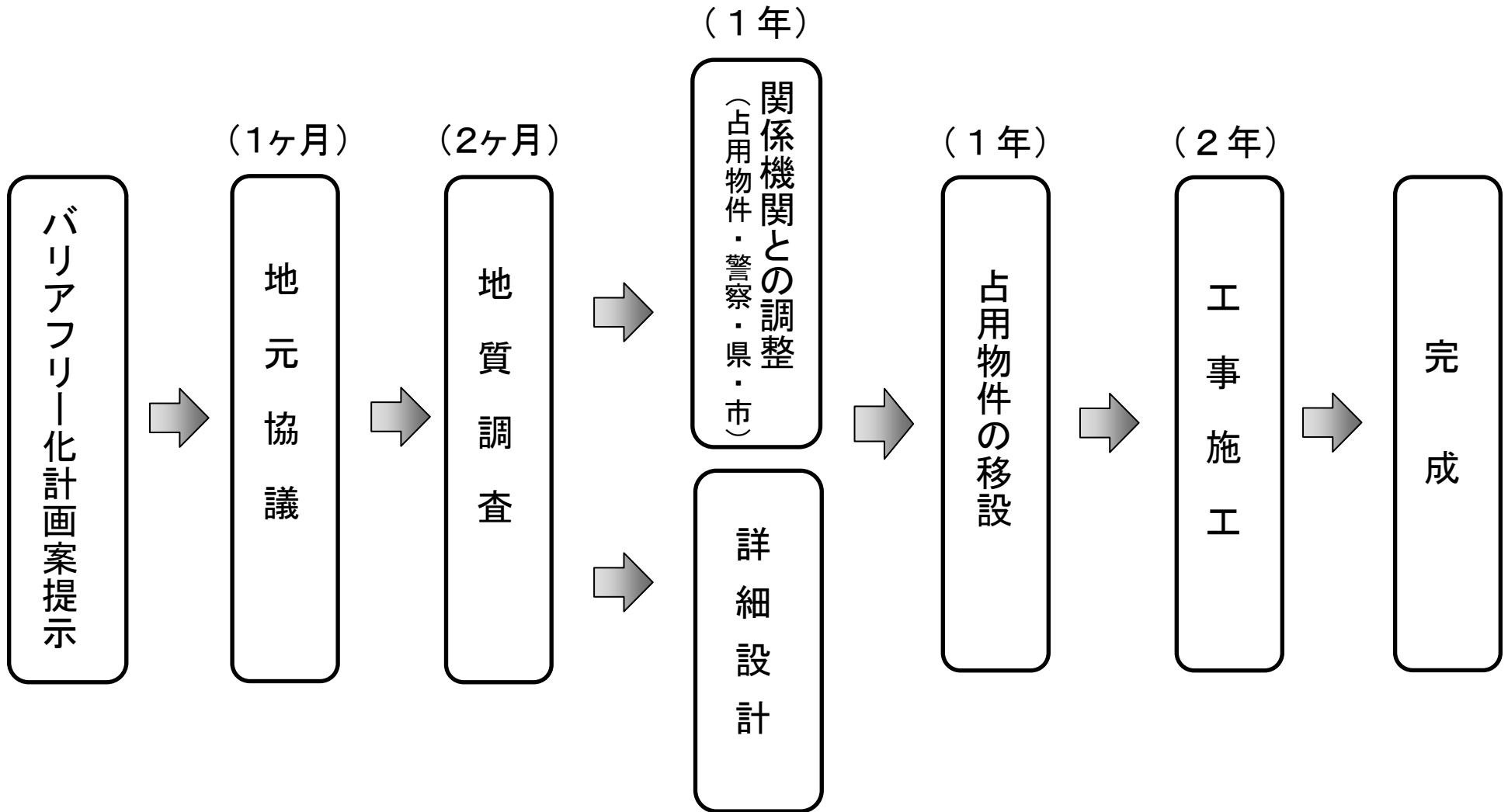
定員	11人
かご寸法 A×B	1400×1350
出入り幅 W	800
昇降路寸法 X×Y	2100×1820

完成イメージ図



※完成イメージ図であり、実際とは異なる場合があります。

バリアフリー化整備の流れ(東本町西歩道橋)



※ 地元協議や関係機関との調整などにより前後する場合があります。

既設歩道橋の制振対策

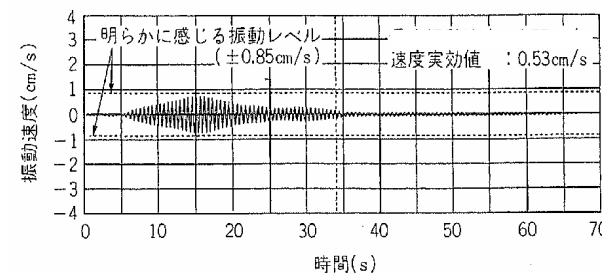
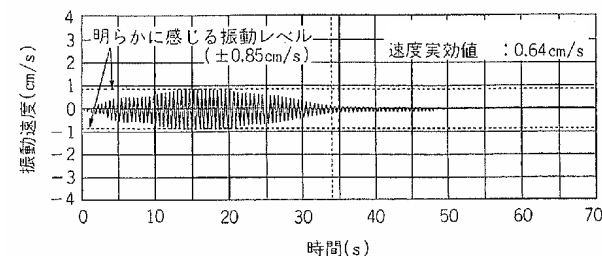
TMD(Tuned Mass Damper)

制振対策とは、一般的に歩道橋の揺れに対し、橋中央部に制振装置(TMD)を取り付けることにより、揺れを少なくするものです。

国道43号芦屋歩道橋の設置事例



制振装置の例



【国道43号芦屋歩道橋の場合】

制振装置(TMD)を設置し、揺れに対し確認実験を複数回実施した結果、設置前は2.81cm/sの速度実効値であったが、設置後は0.59cm/sの速度実効値が得られた。これは、人が横断中に明らかに揺れを感じる速度実効値(0.85cm/s)を下回る振動レベルが得られている。

※速度実効値とは歩道橋の振動レベル評価の指標です。

新技術による環境対策

国道43号をフィールドとして、「道路における新たな二酸化窒素浄化(低減)技術」を公募した結果、応募があり、評価会議において審議されました。審議の結果、選定された技術は、今後、試行的に実施し、効果を検証します。

新技術名称	概要	イメージ図
<p>フォトロード工法</p>	<p>舗装面に光触媒を塗布し、NO_xを吸着する技術</p>	
<p>光触媒ハンノウコート</p>	<p>透光板遮音壁に光触媒を塗布し、NO_2を吸着する技術</p>	<p>▲防音壁(ポリカーボネート)</p>
<p>高活性炭素繊維 (ACF)による二酸化 ちっ素浄化技術</p>	<p>高活性炭素繊維(ACF)によりNO_2を除去する技術</p>	
<p>ピュア・プランター (浄化・遮音タイプ)</p>	<p>スギチップと炭チップによりNO_2を除去する技術</p>	